令和３年度　広島市の学校における働き方改革推進フォーラム

「働き方改革推進モデル校」
実践発表

広島市立千田小学校

学級数　２３学級

児童数　６３４名

（令和３年５月１日現在）

本校の特色

学校教育目標

心豊かに　たくましく　生きる力の育成

①地域のサポートが手厚い

②創立１００周年を見据えて教育活動の充実を図っている

③学校周辺の再開発に伴うまちの発展

取組を進めるまで

①昨年度までの勤務実態に係る認識

　勤務時間外の在校等時間が月当たり４５時間を超える教員が減らない。
　年休の取得が少ない教員も多い。

取組を進めるまで

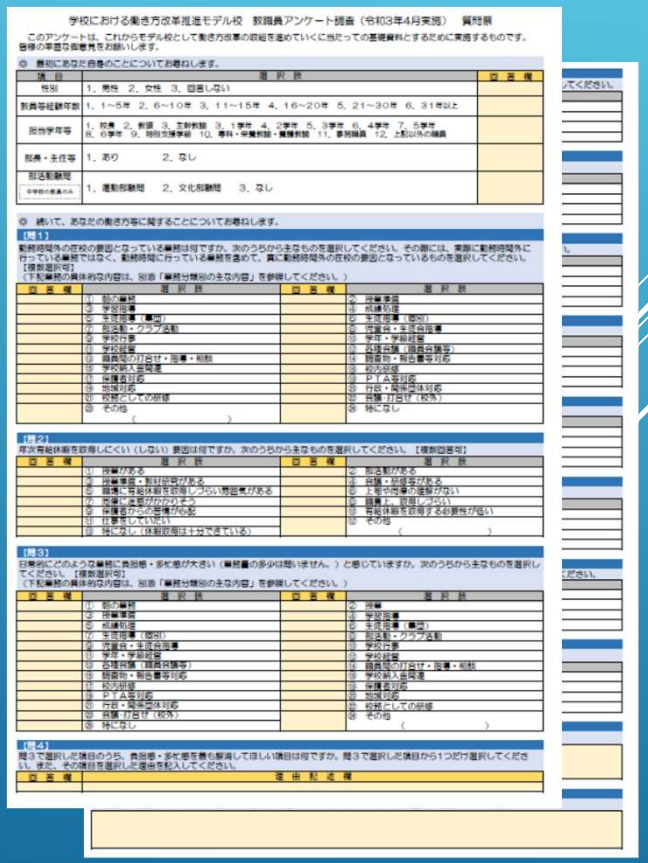
②アンケート調査の実施

〈目的〉

- 勤務状況や教職員の意見などを踏まえ、本校の実態に沿った取組を進める。

〈質問の概要〉

- 勤務時間外の在校の要因となっている業務について
- 今の働き方への満足度について
- 働き方改革に取り組む意識について


学校における働き方改革推進モデル校　教職員アンケート調査（令和3年4月実施）　質問票

このアンケートは、これからモデル校として働き方改革の取組を進めていくに当たっての基礎資料とするために実施するものです。
皆様の率直な回答をお願いします。

◎ 最初にあなた自身のことについてお尋ねします。

項　目	選　択　肢	回　答　欄
性別	1、男性　2、女性　3、回答しない	
教員等経験年数	1、1～5年　2、6～10年　3、11～15年　4、16～20年　5、21～30年　6、31年以上	
担当学年等	1、校長　2、教頭　3、主幹教諭　3、1学年　4、2学年　5、3学年　6、4学年　7、5学年　8、6学年　9、特別支援学級　10、専科・栄養教諭・養護教諭　11、事務職員　12、上記以外の職員	
部長・主任等	1、あり　　2、なし	
部活動顧問 （中学校の教員のみ）	1、運動部顧問　　2、文化部顧問　　3、なし	

◎ 続いて、あなたの働き方等に関することについてお尋ねします。

【問1】
勤務時間外の在校の要因となっている業務は何ですか。次のうちから主なものを選択してください。その際には、実際に勤務時間外に行っている業務ではなく、勤務時間に行っている業務を含めて、真に勤務時間外の在校の要因となっているものを選択してください。
【複数選択可】
（下記業務の具体的な内容は、別添「業務分類別の主な内容」を参照してください。）

回　答　欄	選　択　肢	回　答　欄	選　択　肢
	① 朝の業務		⑫ 授業準備
	② 学習指導		⑬ 成績処理
	③ 生徒指導（集団）		⑭ 生徒指導（個別）
	④ 部活動・クラブ活動		⑮ 授業後・土日の授業
	⑤ 学校行事		⑯ 学年・学級経営
	⑥ 学校経営		⑰ 各種会議（職員会議等）
	⑦ 保護者等の打合せ・指導・相談		⑱ 調査物・報告書等対応
	⑧ 学校納入金関連		⑲ 校内研修
	⑨ 保護者対応		⑳ ＰＴＡ等対応
	⑩ 加害対応		㉑ 行政・関係団体対応
	⑪ 校務としての研修		㉒ 保護者打合せ（校外）
	⑪ その他（　　）		㉓ 特になし

【問2】
年次有給休暇を取得しにくい（しない）原因は何ですか。次のうちから主なものを選択してください。【複数回答可】

回　答　欄	選　択　肢	回　答　欄	選　択　肢
	① 仕事がある		⑥ 周囲の目がある
	② 授業準備・教材研究がある		⑦ 校務・部活等がある
	③ 職場に年休取得を取得しづらい雰囲気がある		⑧ 人手や代替の確保がない
	④ 周囲に迷惑がかかる		⑨ 職場に一取得しづらい
	⑤ 保護者からの苦情がある		⑩ 学校休暇を取得する必要性が低い
	⑪ 仕事をしていたい		⑪ その他（　　）
	⑫ 特になし（休暇取得は十分できている）		

【問3】
日常的にどのような業務に負担感・多忙感が大きい（業務量の多少は問いません。）と感じていますか。次のうちから主なものを選択してください。【複数選択可】
（下記業務の具体的な内容は、別添「業務分類別の主な内容」を参照してください。）

回　答　欄	選　択　肢	回　答　欄	選　択　肢
	① 朝の業務		⑫ 授業
	② 授業準備		⑬ 学校指導
	③ 成績処理		⑭ 生徒指導（集団）
	④ 生徒指導（個別）		⑮ 部活動・クラブ活動
	⑤ 保護者・生徒向指導		⑯ 学校行事
	⑥ 学年・学級経営		⑰ 学校経営
	⑦ 各種会議（職員会議等）		⑱ 保護者等の打合せ・指導・相談
	⑧ 調査物・報告書等対応		⑲ 学校納入金関連
	⑨ 校内研修		⑳ 保護者対応
	⑩ ＰＴＡ等対応		㉑ 加害対応
	⑪ 行政・関係団体対応		㉒ 校務としての研修
	⑫ 保護者打合せ（校外）		㉓ その他（　　）
	⑬ 特になし		

【問4】
問3で選択した項目のうち、負担感・多忙感を最も解消してほしい項目は何ですか。問3で選択した項目から1つだけ選択してください。また、その項目を選択した理由を記入してください。

回　答　欄	理　由　記　述　欄

取組を進めるまで

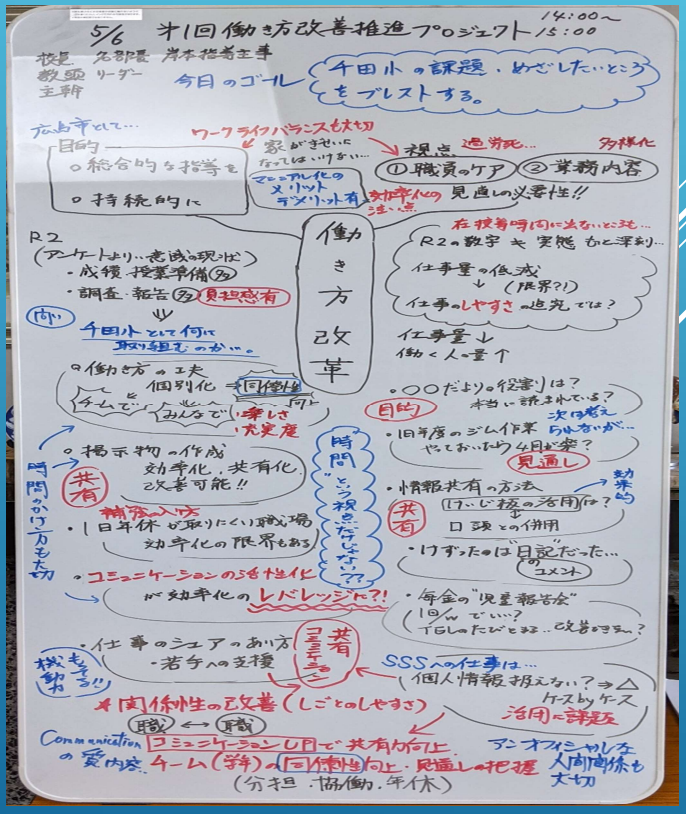
③働き方改革推進委員会を立ち上げ、課題や取組の方向性について議論

〈改善を図る主な課題〉

① 仕事の「個業化」が進行している。

② 校長、教頭、主幹教諭等を中心に、勤務時間外の在校等時間が多い。

③ 授業準備に係る時間を確保する必要がある。



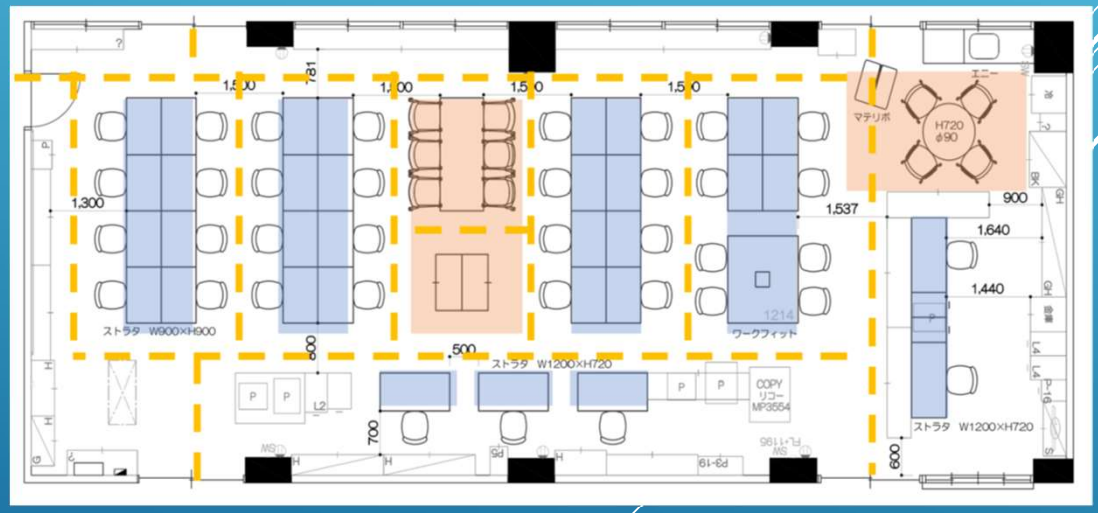
本校の主な取組

1. 職員室の環境整備
2. コミュニティ・スクールの活用
3. 学年間の教科担任制の実施

1 職員室の環境整備

レイアウトの変更

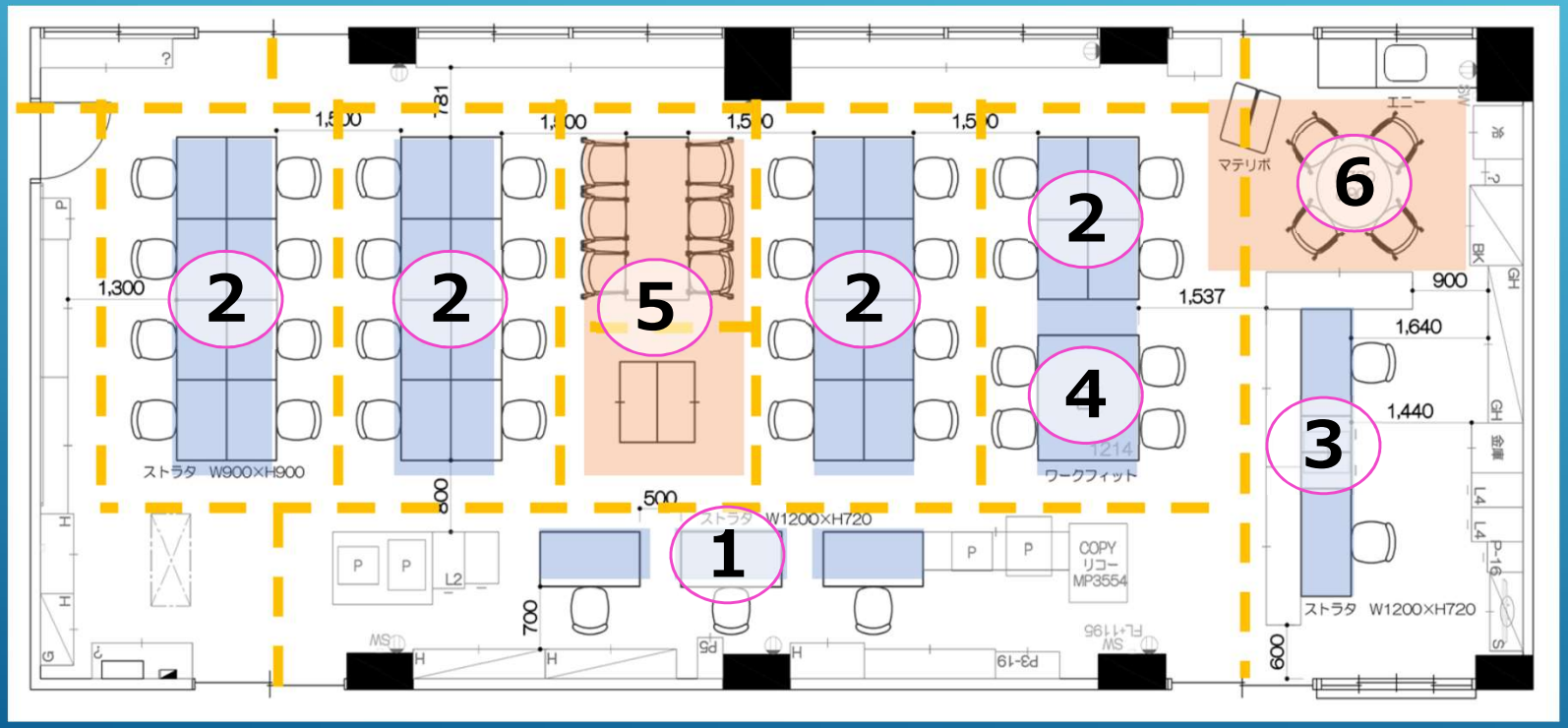
リニューアル前 ⇒ リニューアル後



- - - - - ：職員室内の動線

1 職員室の環境整備

レイアウトの変更



①管理職エリア
②個人執務エリア
③事務エリア
④フリーアドレスエリア
⑤共有エリア
⑥リフレッシュエリア

1 職員室の環境整備

各エリアの様子

①管理職エリア

②個人執務エリア

③事務エリア

④フリーアドレスエリア

⑤共有エリア

⑥リフレッシュエリア

全体

1 職員室の環境整備

収納ルールの設定

〈ルール〉

○　壁面収納は扉を外し、収納物を可視化する。

○　使用頻度が高い資料は、付箋等の見出しを付けて縦置きに収納する。

○　使用頻度が低い資料は、共有資料とすることで資料の削減を図るとともに、電子媒体で保存する。

○　定期的に「整理整頓タイム」を設定する。

など

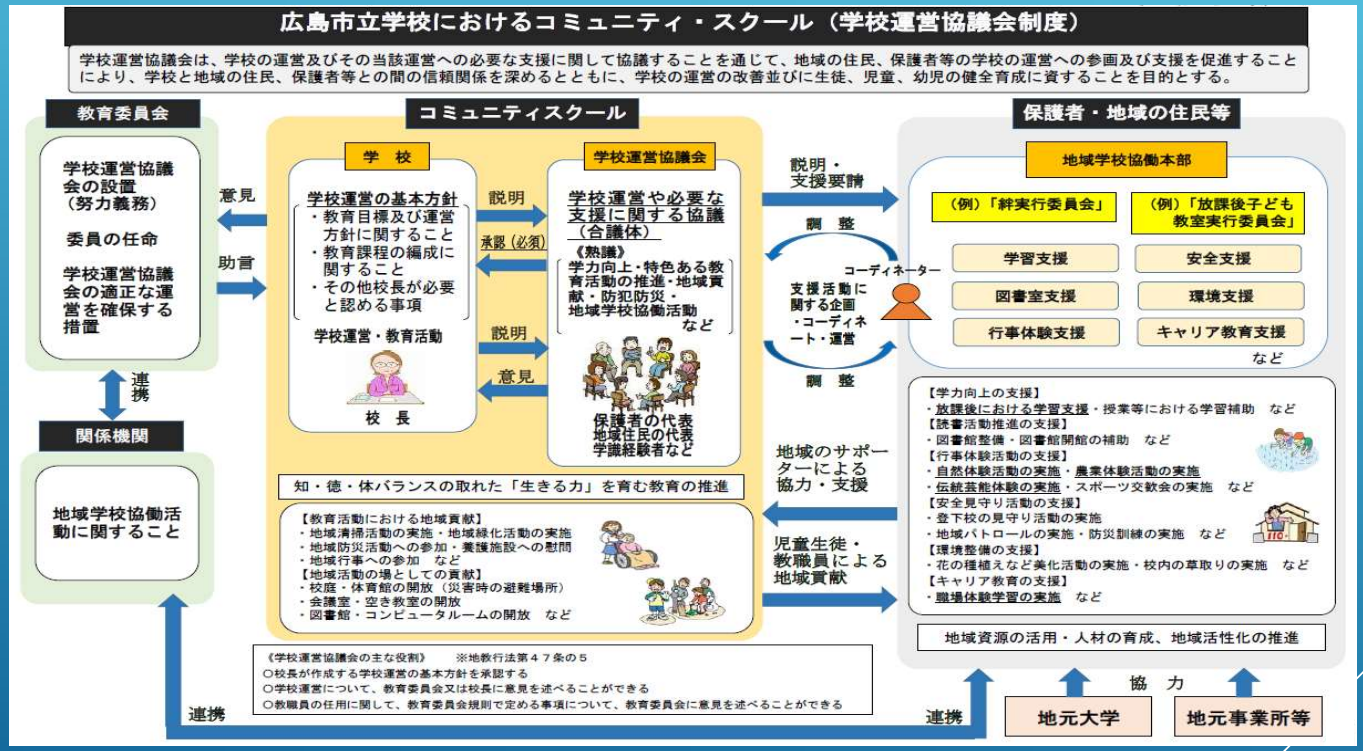
1 職員室の環境整備

取組結果（アンケート調査より）

質問内容	職員室の環境整備を行うことにより、次の項目について、どのくらいの効果があったと考えていますか		
項目	管理職とのコミュニケーションの活性化	その他教職員とのコミュニケーションの活性化	資料・書類の整理整頓の推進
肯定的な回答の割合	５９．３％	７０．４％	７４．１％
要因として考えられる主な取組	レイアウト変更	共有エリアの設置	収納ルールの設定

2 コミュニティ・スクールの活用

学校運営協議会での説明



地域による教育課程への参画

学校による地域への貢献

2 コミュニティ・スクールの活用

目指す関係性

PTA
女性会
セーフティー
パトロール隊
親父の会
母親クラブ
老人クラブ
社会福祉協議会

活動の活性化
認知向上

活動機会の創出

WIN-WINの関係

専門性・知識の提供

学校

学習効果の向上
教材研究の時間短縮

2 コミュニティ・スクールの活用

取組結果（アンケート調査より）

質問内容	肯定的な回答の割合
コミュニティ・スクールの活用により、地域等から理解や協力が得られていますか。	３０．１％

・　コロナ対応もあり、現在は実際の協力が十分に得られていない。
・　学校の様子を具体的にお知らせできる。
・　地域の方の協力があることで、子どもたちが生き生きと毎日を過ごしていると感じる。

3 学年間の教科担任制の実施

教科担任制を導入した教科

体育科

社会科

図画工作科/書写

3 学年間の教科担任制の実施

時間割

【担当教科】
６－１担任：社会科
６－２担任：体育科
６－３担任：図画工作科/書写

	月	火	水	木	金
1					
2					
3			６－3図/書		
4	６－1社		６－3図/書		６－1社 ６－2体
5	６－1図/書 ６－2体 ６－3社				６－1体 ６－2図/書 ６－3社
6	６－1図/書 ６－2社 ６－3体		６－1体 ６－2社		６－2図/書 ６－3体

3 学年間の教科担任制の実施

取組結果

成果

○　準備をする教科が少なくなったので、時間外の勤務時間を縮減できた。
○　それぞれが得意とする教科を受け持つことで、より専門的な授業を行うことができるようになった。
○　６年生担任３人で学年全クラスの子どもの様子を見る機会ができ、児童の情報を共有しやすくなった。

課題

○　急な時間割の変更が難しい。
○　3クラスで行っているため、時間割の組み合わせを考えるのに時間がかかってしまう。
○　担当する教科によって、テストの採点やノートのチェック等、負担の軽重がある。

課題の改善状況

課題		質問概要	肯定的な回答の割合
①	仕事の「個業化」が進行している。	業務の協働化が図られていますか。	３８．４％
②	校長、教頭、主幹教諭等を中心に、勤務時間外の在校等時間が多い。	校長、教頭、主幹教諭を中心に、勤務時間外の在校等時間の縮減が図られていますか。	５３．９％
③	授業準備に係る時間を確保する必要がある。	授業準備を行う時間の確保につながっていますか。	６９．６％

その他の取組結果

質問概要	肯定的な回答の割合	
	４月	１２月
今の働き方に満足していますか。	３８．５％	４６．２％
仕事と生活の調和がとれていますか。	３４．６％	５３．８％
働き方改革に取り組もうとする意識は高いですか。	６１．５％	７６．９％

教職員の声

- 休暇取得や定時で帰ることについて促されることが多くなり、取り組みやすくなった。
- 電話対応がしやすくなった。
- 定時退校日だけではなく、毎日定時に退校するつもりで、意識して仕事をしている。

- 教職員全体で協働的に対応することができていない。
- 課題に対しての具体的な取組を進めることが必要である。
- 教頭先生にふりかかっている仕事が多い。

今後の取組の方向性

アンケート調査
現状把握
課題設定
推進体制
取組検討
協議
役割分担
協働・連携
実施
課題の
改善状況
効果検証
取組成果

ありがとうございました
広島市立千田小学校